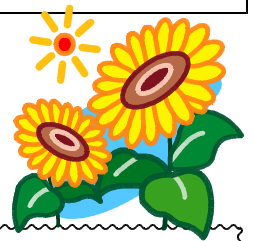




第1学期終業式を行いました



4月6日にスタートした1学期は今日で終了しました。授業日数は72日間を数えます。WITHコロナの不安の中ではありますが、学習、特別活動にがんばった生徒達に以下の言葉を送りました。【終業式での校長のはなし】より（抜粋）

みなさんは各生徒会活動、部活動、毎日の授業とがんばってきました。特に生徒会を中心に、無言清掃をはじめ、すべきことを丁寧に確実に取り組む姿勢は、学校生活をより良いものにする雰囲気作りに繋がっています。2つお話をします。

1つ目は『強い心を持つこと』について。何に対して強くなるのか。それはまず「暑さや寒さに負けない心」。3年生は、受験は体力も大切です。「暑くて勉強できない」と言うようでは暑さに敗北です。これは3年生だけではなく1、2年生も同様です。次に「自分の甘えに対して強い心」。自分の甘えとは「欲望」です。欲は動物が持つ基本的なものですが、そのコントロールが上手くないのが人間です。しかし人間はそれを克服するために「心」を持っています。食べたいものを食べ過ぎお腹を壊したり、眠りたいだけ寝たり、ゲームのやり過ぎは悪いと分かっているにもかかわらず長時間続けてしまう等は、自分に負けています。3つ目は「悪いことからの誘惑に負けない強い心」。一見悪いことは見た目や初めの印象は良いものです。自分が誘われやろうとしていることは「ルール」に沿っているか、他人に迷惑をかけないかを考えて行動すること。万引き等の犯罪はもとより、身の回りで特に該当するものはメディア関係です。メール、ライン、SNS等の使い方、内容は正しいかを考えることが大切です。使い方を間違えると、他人も自分も傷つくこととなります。

2つ目は『努力の成果は2学期に現れる』について。1学期は今日で終わりですが、生活は夏休みそして2学期へと続きます。通知票には、今後の向上のため、この夏休みに何をすべきか記されています。それは「基本をもう一度学習すること」や「苦手教科の克服を」など。ぜひ夏休みは、掲げた目標を達成できるよう努力し、2学期以降の向上につなげて下さい。夏が終わると秋が来ます。秋は実りの季節です。努力の成果は2学期に現れます。「実るほど、頭をたれる 稲穂かな」のように、多くを学び、知識を得て、知性をみがき、礼儀、品格を備え、そして強い心を持って実ってほしいと願っています。

それでは、有意義な夏休みになることを期待するとともに、8月23日に元気に会うことを約束し、私の話を終わります。

終業式では、1学期の反省と今後の抱負について生徒発表がありました。1年代表は大内慎也さん、2年代表は宗像 伶さん、3年代表は佐藤涼吾さん。すばらしい発表で、生徒達は真剣に話を聞いていました。

県中体連陸上競技、卓球競技ならびに 県吹奏楽コンクール県北大会が行われました

7月5～7日に郡山ヒロセ開成山陸上競技場で県中体連陸上競技大会が行われました。本校より、県北大会を勝ち上がった4名の選手が出場しました。競技の結果は、女子2、3年1500mに出場した安齋 響さん（3年）は予選を通過し、自己ベストを更新するタイムで目標の入賞（8着）を果たしました。男子共通800mに出場した小野朝陽さん（3年）は、1周目素晴らしい走りを見せてくれました。女子1年1500mに出場した安齋 凜さん（1年）と男子共通走幅跳びに出場した安齋凌空さん（3年）は、全国標準記録が出たレベルの高い競技の中で、自己ベストを出すなど、健闘しました。

7月11日にはとうほう・みんなの文化センターで福島県吹奏楽コンクール県北大会が行われ、吹奏楽部は、小編成の部で「シェルタリング・スカイ」（J.マッキー作曲）を演奏し、銅賞を得ました。無観客、コロナ感染予防が徹底される緊張の中でしたが、佐藤裕樹先生のタクトに気持ちを集中させ、見事な演奏を行いました。



【吹奏楽部の演奏より】

7月17、18日はいわき総合体育館で県中体連卓球競技が行われ、県北大会を1位で勝ち上がった女子卓球団体は、準決勝で赤井中（いわき）に3-2で勝利し決勝に進み、強豪の郡山二中（8連覇中）に善戦し見事、県2位に輝き東北大会出場を果たしました。また個人ダブルスでは石井愛莉（3年）・井愛叶（3年）ペアがベスト8に、同じくダブルスの・野姫蘭（3年）・植野愛空（2年）ペアとシングル大内春香さん（3年）、男子シングルの保住青哉さん（2年）は強豪相手によく健闘しました。東北大会は8月7、8日に八戸市で行われます。卓球部のさらなる活躍を期待しています。